

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会

令和4年度定期総会 議案書

日 時 令和4年6月26日（日） 11時より
場 所 奈良県言語聴覚士会 事務所

総 会 次 第

1. 開会宣言

2. 議長選出

3. 議 事

【定期総会】

第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算の報告の件

第2号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算承認の件

4. 議長解任

5. 閉会宣言

定期総会議案

第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算の報告の件

令和3年度事業報告

※会議及び講演会等は全て web 開催

1. 令和3年6月27日、令和3年度定期総会を奈良県言語聴覚士会事務所で開催した。
COVID-19感染拡大防止の観点から講演会は延期。総会のみ最小規模で開催した。
2. 一般社団法人日本言語聴覚士協会 都道府県士会会長会議に参加した。
3. 奈良県訪問実務者研修会の企画立案に参加した。
4. 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業に係る会議に参加した。
5. 奈良県3士会合同会議を開催した。
6. 奈良県主催の「なら介護の日2021」に協賛した。
7. 奈良県歯科医師会主催のシンポジウム「高齢者の食支援と低栄養予防」に参加した。
8. 近畿地区府県士会交流会に参加した。(京都府言語聴覚士会主管)
9. 一般社団法人日本言語聴覚士協会主催の地域包括ケアシステムの推進に係る意見交換会に参加した。
10. 奈良県災害リハビリテーション支援協会(奈良JRAT)設立式、総会に参加した。
11. 専門部局の活動について

事務局

- 1) 令和3年度の新入会員14名の入会事務の他、会員の異動に関する事務処理を行った。
- 2) 会員名簿を作成した。
- 3) 各種勉強会の受付事務を行った。
- 4) 「奈良県言語聴覚士会ニュース」を発行した。
- 5) ホームページの内容を随時更新した。
- 6) 他府県士会、他団体の会報などを管理した。
- 7) 会員への諸連絡その他の事務処理を行った。

財務局

- 1) 年会費の出納を行った。
- 2) 県士会活動費の出納を行った。
- 3) 会計に関する事務を行った。

学術局

- 1) 新人勉強会：講師 道上千智先生
6月30日(水) 19:30～ 新人研修①「情報収集～観察ポイント～」参加13名
9月22日(水) 19:30～ 新人研修②「嚥下リハ評価」参加11名
- 2) 定期勉強会：講師 松下真一郎先生
「嚥下機能における運動と生理」
①7月28日 19:30～ 参加16名 ②8月25日 19:30～ 参加12名 ③9月29日 19:30～ 参加12名
「読み書き障害 ～ 発達の側面～」
①10月27日 19:30～参加14名 ②11月24日 19:30～参加15名
- 3) 基礎講座 「④言語聴覚療法の動向」講師：道上 1月21日(金) 19:00～ 17名受講
- 4) 症例検討会 1月23日(日) 13:30～ 場所：関西学研医療福祉学院 参加9名
①「自宅で食べ続ける」を支える～超高齢者への長期的支援 實光綾子先生(土庫病院)
②「両側歯状核の Microbleeds が原因と考えられた口蓋振戦の一例」
曾山茂人先生(奈良県立医科大学付属病院)
③「封入体筋炎により嚥下障害を呈した一症例」道上千智先生(西大和リハビリテーション病院)
④「本態性把握反応と道具の脅迫的使用を呈した一症例」上田健志先生(高井病院)
- 5) 研修会 2月18日(金) 19:00～20:30
講師：河村民平先生(京都光華女子大学教授) テーマ：「言語の神経機構」 参加45名

地域包括ケアシステム推進委員会

- 1) 訪問リハ・地域リーダー会議に参加した。
- 2) 訪問言語聴覚士所在一覧を作成した。

失語症者向け意思疎通支援者養成事業準備委員会

- 1) 奈良県障害福祉課、奈良新聞社(委託業者)との会議に参加した。
- 2) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業 本講座(2年目)
今年度は受講者10名募集。応募9名 参加者8名。第4回～前年度受講者も参加。
場所：奈良県文化会館 (第7回：関西学研医療福祉学院)
① 8月8日 10:00～16:15
受講者8名 会員4名 奈良県・奈良新聞社3名
② 8月29日 9:30～16:30
受講者7名 会員6名 当事者2名 奈良県・奈良新聞社2名
③ 9月12日 9:30～16:30
受講者8名 会員4名 奈良県・奈良新聞社2名
④ 9月26日 10:00～15:30
受講者17名 会員8名 奈良県・奈良新聞社2名

⑤10月10日 10:00~15:30

受講者17名 会員7名 当事者・ご家族4名 奈良県・奈良新聞社2名

⑥10月24日 9:30~17:00

受講者16名 会員4名 理学療法士講師2名 奈良県・奈良新聞社2名

⑦11月21日 13:00~16:30

受講者17名 会員8名 当事者・ご家族7名 奈良県・奈良新聞社2名

⑧11月28日 10:00~16:00

受講者17名 会員7名 奈良県・奈良新聞社3名

※修了者17名+講師7名 → 登録（名簿管理は奈良県障害福祉課）

3) 奈良県障害福祉課、奈良新聞社担当者からの問い合わせに対応した。

災害対策準備委員会

- 1) 奈良県災害リハビリテーション支援協会（奈良 JRAT）設立式、総会に参加した。
- 2) 奈良 JRAT の会議に参加した。

令和4年4月1日

2021年度決算報告

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会

収入の部

費目	当期予算	当期決算	備考
会費収入	610,000	538,000	
正・準会員	600,000	528,000	4000円×132件（未収会費を含む）
賛助会員（団体）	10,000	10,000	10000円×1社
事業収入	0	31,000	
		8,000	基礎講座参加費
		23,000	定期研修会参加費
その他の収入	50,000	150,015	
	50,000	50,000	日本言語聴覚士協会（活動支援金）
		100,000	奈良新聞社（文藝部向け奈良県言語聴覚士協会活動支援金）
		15	利息
前年度繰越金	2,248,497	2,248,497	
収入合計	2,908,497	2,967,512	

支出の部

費目	当期予算	当期決算	備考
事業費			
学術活動	100,000	99,201	謝礼など
委員会活動	220,000	506	失語症者向け意思疎通支援事業事務用品
管理費			
総会開催費	60,000	96,422	総会関係資料作成費、郵送費など
会議費	50,000	0	
旅費交通費	60,000	4,380	
渉外費	60,000	10,110	「なら介護の日2021」協賛金
事務費	80,000	36,638	インターネット費、ZOOM.JPY、事務用品など
会報発行費	30,000	14,234	郵送費など
災害対策研修費	30,000	10,000	奈良県災害リハビリテーション支援協会年会費
他団体関係費	20,000	0	
支出合計	710,000	271,491	
次年度繰越金	2,198,497	2,696,021	

以上報告いたします。

一般社団法人奈良県言語聴覚士会

財務局 霜村智一



監査の結果、上記の報告に相違ありません。

一般社団法人奈良県言語聴覚士会

監査役 曾山祐佳



貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	2,618,021	2,080,497	537,524
未収会費	100,000	184,000	△ 84,000
未収入金	0	0	0
流動資産合計	2,718,021	2,264,497	453,524
2. 固定資産			
(1) 特定資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(2) その他固定資産	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	2,718,021	2,264,497	453,524
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	22,000	16,000	6,000
流動負債合計	22,000	16,000	6,000
1. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	22,000	16,000	6,000
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	2,696,021	2,248,497	447,524
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	2,696,021	2,248,497	447,524
負債及び正味財産合計	2,718,021	2,264,497	453,524

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許現金	運転資金として	60,766
預金	住信SBIネット銀行	運転資金として	2,557,255
未収会費	各会員	令和3年度までの未収会費	100,000
流動資産合計			2,718,021
(固定資産)			
固定資産合計			0
資産合計			2,718,021
(流動負債)			
前受会費	各会員	令和3年度までの前受会費	22,000
流動負債合計			22,000
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			22,000
正味財産			2,696,021

収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

科 目	予算額	決算額	比較増減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	610,000	538,000	△ 72,000
補助金収入	50,000	150,000	100,000
雑収入	0	31,015	31,015
事業活動収入計	660,000	719,015	59,015
2. 事業活動支出			
事業費支出	320,000	94,886	△ 225,114
会議費支出	40,000	0	△ 40,000
旅費交通費支出	100,000	4,380	△ 95,620
通信費支出	10,000	0	△ 10,000
事務用品費支出	30,000	506	△ 29,494
諸謝金支出	100,000	90,000	△ 10,000
支払手数料支出	10,000	0	△ 10,000
印刷コピー費支出	30,000	0	△ 30,000
管理費支出	390,000	176,605	△ 213,395
交際費支出	60,000	10,000	△ 50,000
会議費支出	50,000	0	△ 50,000
旅費交通費支出	60,000	0	△ 60,000
通信費支出	50,000	59,394	9,394
印刷コピー費支出	20,000	0	△ 20,000
事務用品費支出	50,000	6,700	△ 43,300
支払手数料支出	30,000	75,805	45,805
租税公課支出	20,000	14,706	△ 5,294
災害対策研修費	30,000	10,000	△ 20,000
他団体関係支出	20,000	0	△ 20,000
事業活動支出計	710,000	271,491	△ 438,509
事業活動収支差額	-50,000	447,524	497,524
II. 予備費支出			
当期収支差額	-50,000	447,524	497,524
前期繰越収支差額	2,248,497	2,248,497	0
次期繰越収支差額	2,198,497	2,696,021	497,524

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

科 目	本年度	前年度	比較増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	538,000	562,000	△ 24,000
受取補助金	150,000	100,000	50,000
雑収益	31,015	12	31,003
経常収益計	719,015	662,012	57,003
(2) 経常費用			
事業費	94,886	10,000	84,886
会議費	0	0	0
旅費交通費	4,380	0	4,380
通信費	0	0	0
事務用品費	506	0	506
諸謝金	90,000	10,000	80,000
支払手数料	0	0	0
印刷コピー費	0	0	0
管理費	176,605	122,258	54,347
交際費	10,000	0	10,000
会議費	0	0	0
旅費交通費	0	700	△ 700
通信費	59,394	69,128	△ 9,734
印刷コピー費	0	0	0
事務用品費	6,700	17,968	△ 11,268
支払手数料	75,805	30,377	45,428
租税公課	14,706	4,085	10,621
災害対策研修費	10,000	0	10,000
他団体関係費	0	0	0
経常費用計	271,491	132,258	139,233
当期経常増減額	447,524	529,754	△ 82,230
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	447,524	529,754	△ 82,230
一般正味財産期首残高	2,248,497	1,718,743	529,754
一般正味財産期末残高	2,696,021	2,248,497	447,524
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	2,696,021	2,248,497	447,524

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

付属明細書

1. 該当事項なし

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、手許現金、現金預金、未収会費、前払費用、短期借入金、未払金、未払法人税等、前受会費、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
手許現金	92,737	60,766
現金預金	1,987,760	2,557,255
未収会費	184,000	100,000
前払費用	0	0
その他資産	0	0
合 計	2,264,497	2,718,021
短期借入金	0	0
未 払 金	0	0
未払法人税等	0	0
前受会費	16,000	22,000
預 り 金	0	0
合 計	16,000	22,000
次期繰越収支差額	2,248,497	2,696,021

監査報告書

一般社団法人奈良県言語聴覚士会
会長 道上千智 殿

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 4年 4月 15日

一般社団法人奈良県言語聴覚士会

監事 曾山祐佳



第2号議案 令和4年度事業計画並びに収支予算承認の件

令和4年度事業計画

1. 近畿地区府県士会交流会に参加する。
2. 学術講演会をはじめ研修会、勉強会など学術活動の充実に努める。
3. 職能組織として会員に情報を伝え、会員間の交流や連携を支援する。
4. 一般社団法人日本言語聴覚士協会と連携し、活動する。
5. 各委員会活動の自主性を尊重しつつ、充実のための支援を行う。
6. 関連団体との連携・協力を行う。
7. 行政や報道機関等に要望や提言を行う。
8. 専門部局の活動について

事務局

- 1) 会員の入会及び異動に関する事務を行う。
- 2) 運営委員会の議事録を作成する。
- 3) 行政や関連団体等と連携・協力を行う上で必要な連絡・調整などの実務を担当する。
- 4) 「奈良県言語聴覚士会ニュース」を発行する。
- 5) ホームページの管理を行い、内容の充実を図る。

財務局

- 1) 年会費の出納を行う。
- 2) 県士会活動費の出納を行う。
- 3) 会計に関する事務を行う。

社会局

- 1) 「言語聴覚の日」のイベントなどの広報活動に関して企画運営を行う。
- 2) 訪問リハ・地域リーダー会議に出席し、情報を収集・発信する。

学術局

- 1) 第17回症例検討会、生涯学習プログラム基礎講座を開催する。
- 2) 定例勉強会、研修会を開催する。

失語症者向け意思疎通支援者養成事業準備委員会

- 1) 「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成事業」推進のための助言を行う。
- 2) 県主催の「失語症者向け意思疎通支援者養成講座」に講師を紹介する。
- 3) 行政(奈良県障害福祉課等)、関連団体などからの問い合わせに対応する。

災害対策準備委員会

- 1) 奈良 JRAT 会議、各種研修会に参加する。

2022年度予算案

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会

収入の部

費目	2022年度	2021年度	増減	備考
会費収入	610,000	610,000	0	
正・準会員	600,000	600,000	0	4000円×150人分
賛助会員	10,000	10,000	0	10000円×1社
事業収入 参加費等	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
その他の収入	50,000	50,000	0	
	50,000	50,000	0	日本言語聴覚士協会（活動支援補助金）
	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
前年度繰越金	2,696,021	2,248,497	447,524	
収入合計	3,356,021	2,908,497	447,524	

支出の部

費目	2022年度	2021年度	増減	備考
事業費 学術活動	100,000	100,000	0	謝礼、交通費、施設使用料など
委員会活動	220,000	220,000	0	言語聴覚の日本行委員会など
			0	
管理費 総会開催費	60,000	60,000	0	会場設営費など
会議費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	60,000	60,000	0	交通費・宿泊費など
渉外費	60,000	60,000	0	お祝い、POSボウリング大会費など
事務費	80,000	80,000	0	文房、送料、雑費、インターネット代など
会報発行費	30,000	30,000	0	ニュース発行費
災害対策研修費	30,000	30,000	0	
他団体関係費	20,000	20,000	0	
予備費	2,646,021	2,198,497	447,524	
支出合計	3,356,021	2,908,497	447,524	

以上、提案いたします。

収 支 予 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
受取会費収入	610,000	610,000	0
受取補助金収入	50,000	50,000	0
雑収入			0
事業活動収入計	660,000	660,000	0
2. 事業活動支出			
事業費支出	320,000	320,000	0
会議費支出	40,000	40,000	0
旅費交通費支出	100,000	100,000	0
通信費支出	10,000	10,000	0
事務用品費支出	30,000	30,000	0
諸謝金支出	100,000	100,000	0
支払手数料支出	10,000	10,000	0
印刷コピー費支出	30,000	30,000	0
管理費支出	390,000	390,000	0
交際費支出	60,000	60,000	0
会議費支出	50,000	50,000	0
旅費交通費支出	60,000	60,000	0
通信費支出	50,000	50,000	0
印刷コピー費支出	20,000	20,000	0
事務用品費支出	50,000	50,000	0
支払手数料支出	30,000	30,000	0
租税公課支出	20,000	20,000	0
災害対策研修費	30,000	30,000	0
他団体関係支出	20,000	20,000	0
事業活動支出計	710,000	710,000	0
事業活動収支差額	△ 50,000	△ 50,000	0
II. 予備費支出			
当期収支差額	△ 50,000	△ 50,000	0
前期繰越収支差額	2,696,021	2,248,497	447,524
次期繰越収支差額	2,646,021	2,198,497	447,524